

船舶事故等調査報告書

平成24年4月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第175号	
事故等種類	衝突（防波堤）	
発生日時	平成23年10月18日 06時00分ごろ	
発生場所	鹿児島県枕崎市枕崎港東防波堤 枕崎港東防波堤灯台から真方位082°70m付近 (概位 北緯31°15.5′ 東経130°17.6′)	
事故等調査の経過	平成23年12月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第五竹吉丸、14トン	
船舶番号、船舶所有者等	KG2-6004（漁船登録番号）、有限会社吉武水産	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	本船 船首甲板に喫水線下約50cmまで亀裂 防波堤 なし	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、枕崎港南南東方沖を同港に向けて約330°（真方位）の針路及び約10ノットの速力で航行中、船長が居眠りし、平成23年10月18日06時00分ごろ枕崎港東防波堤に衝突した。 本船は、応急処置をして自力で枕崎港に入航した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の初期	
その他の事項	本船は、5隻で構成されるまき網船団の灯船であった。 本船の喫水は、船首約0.3m、船尾約1.0mであった。 船長は、前日からの睡眠時間が合計約5時間であった。 船長は、本事故発生当時、椅子に座って舵を握っていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、枕崎港南南東方沖を同港に向けて航行中、船長が居眠りに陥ったことから、枕崎港東防波堤に向けて航行し、同防波堤に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、枕崎港南南東方沖を同港に向けて航行中、船長が居眠りに陥ったため、枕崎港東防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。	